

2008 年 3 月 7 日

第 45 回技能五輪全国大会「電気溶接」において銅賞を受賞 (宇部興産機械株式会社 赤星周平選手)

2 月 29 日(金)～3 月 3 日(月)、千葉県で開催された第 45 回技能五輪全国大会「電気溶接」において、宇部興産機械株式会社(社長:山本謙、以下 宇部興産機械)の赤星周平選手が銅賞に入賞しました。

技能五輪全国大会とは、青年技能者(23 歳以下)の技能レベルの日本一を競う大会であり、次代を担う青年技能者に努力目標を与えるとともに、技能の重要性、必要性をアピールし、技能尊重機運の醸成を図ることを目的に毎年開催されています。

宇部興産機械ではこれからを担う若き世代へ高度な技能を伝承することを目的に、2004 年から全国大会へ出場してまいりましたが、今回念願の初入賞を果たしました。

1. 「電気溶接」の職種概要

多くの工業製品は金属部分を接合し製作されており、その接合に要する溶接技術はモノづくりの基礎となるものです。

5 時間の競技時間内に「ティグアーク溶接、アルミニウム合金の組立品」「ティグアーク溶接、ステンレス鋼の組立品」「被覆アーク溶接、軟鋼圧力容器の製作」の 3 種類の課題を行います。

作品は寸法精度、外観、耐圧性能(強度)、そして作業時間が評価の対象になります。技能者には図面の読解力、溶接施工能力そして欠陥の無い健全な溶接技術・技能、スピードが必要で、溶接に関する高い総合能力が求められます。

2. 選手プロフィール

赤星周平(あかほし しゅうへい) 21 歳

2005 年 4 月に入社、現在は宇部興産機械 製造 2 部製造課に在籍

技能五輪全国大会へは昨年に引続き、2 回目の出場

3. 受賞コメント

この度、銅賞を受賞することが出来、本当に嬉しく思います。

今回は 2 回目の出場に当たり、前回大会の反省点である「作業時間」と「容器寸法」に重点を置いて練習を重ねてきました。また、今大会の約 2 ヶ月前に初心にかえり、前回大会の他選手の作品を写真等から学び、自分の溶接方法、手順を一から考え直し、容器を解体して内部の溶け込み確認、外観仕上がりを見直したのが今回の結果に大きく繋がったと思います。

出場の機会を与えて下さった会社の皆様方を初め、今まで指導をして下さった先輩方にお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

この結果に満足することなく、次回の大会では更に上位を目指して一層練習に励みたいと思います。



第 45 回技能五輪全国大会 授賞式風景(右から 2 番目が赤星選手)



赤星選手の競技風景



銅メダルを獲得した赤星選手(表彰式会場にて)